

日本看護連盟会員の皆様へ 　ご挨拶

桜花綻ぶ候、厳しい感染症パンデミックが続く中でいのちの最前線に立ち、国民の尊い生命をお守りくださる皆様に心から敬意を表し感謝申し上げます。また平素より、看護政策の推進にご尽力を賜り誠にありがとうございます。お陰様で自民党本部において現在、政務調査会・副会長、新型コロナウイルス感染症対策本部・副本部長、行政改革推進本部・副本部長等の役職を務めさせていただいており、より良い看護の実現に向け、看護職としての誇りを持って一意専心、国政にあたっております。

さて私こと　たかがい（高階）恵美子　は、来夏の参議院議員通常選挙において三期目をめざす決意を固め、現職国会議員として培った信頼と実績のもと、引き続き自民党公認をいただいで比例代表選出議員候補者として立候補させていただくべく鋭意活動しております。

この議席は改めて言うまでもなく、日本看護連盟の組織代表として擁立された国政選挙において獲得できたものです。日本看護連盟は、少しでも看護をよくしたい、いい看護ができる環境にしたい、国民が健康で幸せを実感できる社会にしたいと願う会員が集い、心をひとつに政治活動を続けています。自民党が国民の信頼を失い野党に転落した時も挫けず地道に鍛錬を続け、今日の厚く信頼される政治活動の基盤を構築してきました。

私の参議院議員三期目への挑戦は、その努力が結実し、看護政策の推進に最大の成果を挙げられることを願って覚悟したものです。政治団体内において適正な手続きを進めていただき、皆様の信頼をいただいた上は是非とも次期選挙へのご支援を賜りたく、その旨を二〇一九年以降累次に渡って、皆様にお伝えし、お願い申し上げます。

これまで看護職として、病院、保健所、精神保健福祉センター、国立大学、厚生労働省等の現場で仕事一筋に邁進してきましたので、二〇一〇年初当選時は国政に不慣れな点の多い若輩者でした。しかし日本看護連盟の皆様のご叱咤激励と先輩議員を始めたくさんの議会関係者からの適切なご指導ご助力にお支えいただいた十余年、ようやく国政の場でも政策立案の一翼を担う存在として信頼され、お認めいただけるまで成長しつつあります。

これからは、経済成長が鈍化し人口減少の進展する中で、ひとり一人の個性が尊重され、生涯を通じて自分らしい豊かな人生一〇〇年をデザインできるようにすること、地球環境や国際的なパワーバランスの変化を超越する持続可能な社会を次代へと引き継ぐことが、重要な政策課題となります。目前に迫る危機を回避し被害を最小限にする努力だけでなく、現場最優先の信条を貫き小さな声へ心を寄せる姿勢を大切に、予測困難な革新的変化にも冷静かつ柔軟に対処できる備えが必要です。

世界中の誰も経験したことのない新たな政治課題に対し、適確な判断で解決策を導く存在として、看護職は大いに期待され社会貢献できると私は信じています。耳目を集めつつある男女間の賃金格差解消や専門人材の確保戦略と活躍の場の拡大、技術革新とデジタル化推進に伴う医療サービスの刷新は、看護職が長らく抱えてきた処遇改善や権能拡大、働き方改革と密接不可分な課題です。社会全体の課題解決においては、人の生きる力を守る看護の課題解決をも同時に進めなければなりません。

今こそ私たちの時代です。看護職の声でよりよい看護ができる環境を実現し、社会の生きる力をしっかりと創り出すために、これからも皆様とともに、政治活動を続けさせていただければ幸いです。会員及びご家族の皆様の「健勝」多幸を心から祈念いたします。

敬具

令和三年三月八日

参議院議員 高階恵美子